

令和6年度 第3回 村櫛小学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年2月14日（金） 13時20分から15時45分まで
※途中で授業見学（13：25～13：55）
- 2 開催場所 村櫛小学校 3階 会議室
- 3 出席委員 徳増 久子、徳増 善幸、柴田 宜克、藤田 善人、松下 恵子
- 4 欠席委員 遠山 通夫、小松 亘
- 5 オブザーバー 藤田 伸幸（村櫛幼稚園園長）
- 6 学 校 今田 徹（校長）、宮本 直子（教頭）、鈴木 亨（教務主任・CS担当職員）、
吉田 真季（CSディレクター）
- 7 教育委員会 欠席
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 吉田 真季
- 10 議長の選出
議長は前回会議（第2回）の経緯より、徳増善幸委員が務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）前回会議録の確認
- （2）学校関係者評価（いじめ防止基本方針に基づく取り組み、目標達成状況を含む）
- （3）来年度の学校運営の基本方針
- （4）学校運営協議会の自己評価
- （5）学校運営に必要な支援活動（地域と子供が関わることのできる活動）
- （6）報告（夢育やらまいか事業、村櫛幼稚園より）

12 会議記録

司会の宮本直子教頭から、委員総数7人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）前回会議録の確認

令和6年度第2回会議議事録の内容について確認をした。

（2）学校関係者評価（いじめ防止基本方針に基づく取り組み、目標達成状況を含む）

- ① 鈴木亨教務主任から、別紙資料に基づき学校関係者評価について説明があった。
朝読書の時間確保や「本大好きカード」をリニューアルして、子どもが楽しく本に親しむ環境づくりをした。低学年に効果があった。委員から、授業参観の感想をふまえて委員からの発言は、以下の通りである。
 - ・1年生は頑張った事を発表していた。聞き方や発表の仕方を先生が教えているのか（徳増善幸委員）
 - きっちりとした型を教えているわけではない（教務主任）
 - ・「話し合いが深まっていった」と感じられると、「話し合いたい、追及したい」と思うことができると思う（徳増善幸委員）
 - ・発表形式をとり事前準備をしているが強く伝える意識が少なかった。小規模ならではの一人一人が自信を持てる教育を推進できるとよい（徳増久子委員）
 - ・小規模校だから先生が寄り添える環境が子どもにとって良い（柴田宜克委員）
 - ・タブレットを使った発表で、時代に合った良い教育だと思う（藤田善人委員）
 - ・タブレットのおかげで調べる幅が広がった（松下恵子委員）

- ・本から調べるという事は少ないのか（徳増善幸委員）
→へちまプロジェクトの際は学校で本を購入したので本で調べた。環境を整えてあげれば子ども達も本で調べる力はある（教頭）
- ②今田徹校長からいじめ防止基本方針に基づく取り組み状況について説明があった。
 - ・相手が嫌だと言え「いじめ」。教員には丁寧に聴き取りするように指示し実行している。下校時や休日など職員が気付きにくい校外の事も地域の方・保護者との密な連携で解決した事例がある。引き続き見守って欲しい。
- （３）来年度の学校運営の基本方針
今田徹校長から別紙資料に基づき来年度の学校運営の基本方針について、新たに「挑戦する学校」をキーワードに入れていきたい旨の説明があった。委員から来年度の学校運営の基本方針が承認され、以下の発言があった。
 - ・「挑戦する」を取り上げてもらい嬉しい。村櫛小の算数教育は長い歴史があり6年間の教育の中で算数が得意となれば自信がもてる（徳増久子委員）
 - ・子ども達は発表の姿勢が「挑戦する」に繋がる一つの道筋（徳増善幸委員）
 - ・読み聞かせの人の確保は民生委員に声をかける方法もある（柴田宜克委員）
- （４）学校運営協議会の自己評価
議長より、今年度の学校運営協議会の自己評価を行いたいと発言があった。各委員が4つの評価項目について考えをまとめ、それを基に熟議を行った。委員からの発言は、以下の通りである。
 - ・大変わかりやすく同じ方向を向いて熟議できた。小・中学年の地域と関わりある活動を充実させることなどについて熟議したい（徳増善幸委員）
 - ・学校からの丁寧な説明によって委員間で共通理解を図ることもできた（徳増久子委員）
- （５）学校運営に必要な支援活動（地域と子供が関わることのできる活動）
議長の指示により、地域と子どもが関わることのできる支援活動について熟議した。委員からの発言は、以下の通りである。
 - ・村櫛には他にない干拓の歴史、伝統がある。村櫛の良さを実感させたい（藤田善人委員）
 - ・何の為にその活動をするのかはっきりさせて活動するとよい（徳増久子委員）
 - ・地域の建築関係者とともに卒業制作で本箱を製作するのはどうか。本を大切に作る心を育み、読書教育に繋げることができる。また、へちまプロジェクトは4年生に引き継ぐ予定なのか（徳増善幸委員）
→5年生の様子から4年生へ引き継いでもらいたい思いがある（教頭）
 - ・「うらやすの舞」「秋祭り」の歴史を踊る子どもだけではなく鑑賞する子ども全員に学ぶ機会があればと思う（松下恵子委員）
- （６）報告
宮本直子教頭から夢育やらまいか事業についての報告、村櫛幼稚園園長より別紙資料に基づき村櫛幼稚園について報告があった。

その他の報告事項等

宮本直子教頭から、次回会議は令和7年5月8日（木）に3階会議室で開催する旨の報告があった。なお、協議内容については、「学校運営の基本方針の確認・令和7年度の学校運営協議会の目標について・村櫛小学校いじめ防止基本方針について」であることが示された。